

PARENT NEWSLETTER

岡山県立岡山操山高等学校
第3学年 学年通信
第5号
平成20年11月28日

“Success and suffering are vitally and organically linked. If you succeed without suffering, it is because someone suffered for you; if you suffer without succeeding, it is in order that someone else may succeed after you.”

Edward Judson (1844-1914)

「成功と苦しみは極めて重要かつ有機的につながっている。あなたが苦しむことなく成功するのは、あなたの代わりに誰かがその前に苦しんだためであり、苦しんでいるのに成功しないのは、あなたが成功した後で、次に誰か他の人が成功するためである。」

調べてみると、作者のEdward Judsonは、米国バプチスト派の聖職者とのことです。彼は上の言葉の中で「成功」と「失敗」という対立事項を持ち出していません。彼は、「成功」と「苦しみ」を有機的なつながりであると表現しています。「有機的」とは、「一つの中核的な部分を中心にして、全体が関連のある働きをする様子」を言うのですが、一見「失敗」のように思えることでも、そのまま終わることはなく、それは「成功」への一部でもあるということを示しています。

車いす卓球のプロ選手で、北京パラリンピックにも出場された、岡紀彦さんも以前本校で講演をされた際に、「ピンチがチャンス」という言葉を生徒に贈られました。「スマッシュにこだわらず、守りに徹すること」の重要性を噛みしめておられました。

さて、センター試験まであとわずかとなりました。9月以降校内、校外模試のラッシュで、様々な成績資料が返却され、さらに自信をつけた生徒、あるいは思うような結果を得られず、自信を失いかけている生徒など、気が緩んだり焦ったり、様々です。以前申しましたように、現在の力は4、5ヶ月前の努力が実を結びかけているものとして捉えるべきです。従って、現役は試験直前まで伸び続ける。たとえ、前回よりも模試の成績が下がったとしても、今は「我慢、我慢」。「苦しみ」と「成功」は有機的につながっているのですから、「ピンチがチャンス」なのです。判定結果のみに振り回されず、「どこが第1志望なのか」「大学で何をやりたいのか」ということに立ち返って、今のこの時期を大切に過ごしてもらいたいと願っています。

校内模擬テストの結果送付

11月11日、12日に実施しました第4回校内模擬テストの結果がまとまりましたので、送付いたします。同封の成績表、度数分布を御覧下さい。校内模擬テストの結果は12月初旬の「進路検討会議」におきまして、個人別に検討を行う際の重要な資料となります。校内模擬テストは、作問から採点に至るまで校内で処理し、結果は教科ごとに、学年全体で検討を重ねていきます。個人別検討では、教科による問題の難易

別解答状況から個人の答案の作成状況に至るまで、校外模試の結果からだけでは窺えない、個人の潜在的な学力等にも十分に検討を加えた上で、出願校を絞り込んで行きます。

保護者面談について

進路検討会を経ますと、1学期同様に担任・生徒・保護者による面談を予定しております。面談の中心日は、12月12日（金）と15日（月）の2日間を予定しております。後日担任より、お子さまを通じて詳しい面談時間・面談場所の御連絡をさせていただきます。寒い中、廊下等でお待ちいただく場合が生じることもあります。また、武道場改修工事のため駐車スペースがございませんので、できる限り公共交通機関を御利用くださいますようお願いいたします。御不便をおかけいたしますが、よろしく御協力のほどお願い申し上げます。

12月・1月の予定

12月

5日（金）～11日（木）	第4回学力テスト
12日（金）	面談中心日
13日（土）～14日（日）	駿台プレテスト（マーク）
15日（月）	面談中心日
16日（火）～24（水）	特別授業
24日（水）	1～4限授業 5限大掃除 6限終業式
25日（木）～26日（金）	特別授業
27日（土）～28日（日）	センター試験プレテスト

1月

5日（月）～6日（火）	センター試験プレテスト
8日（木）	始業式、特別授業 再開
10日（土）	中学校入学者選抜（登校禁止）
16日（金）	センター試験壮行会（4限）、午後会場下見
17日（土）～18日（日）	大学入試センター試験
19日（月）	自己採点
21日（水）～	特別授業

（学年主任 小橋 雅彦）